

灯油で暖房あったか家族

灯油はもっとも経済的です。



Q1. 冬の暖房は灯油が一番って本当？

A. 本当です。「電気」「灯油」「都市ガス」のエネルギー効率を比較してみると、その違いが分かります。

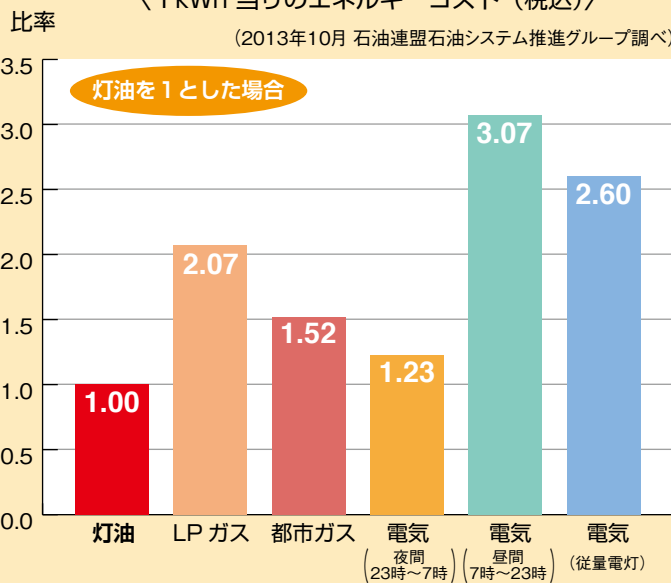
暖房に使うエネルギーとしては、「電気」「灯油」「都市ガス」が一般的です。こうしたエネルギー源を使って暖房する場合は、基本的に熱量は決まっています。例えば、1 kWh の電力から得られる熱量は860kcalです。つまり、電気ストーブなどの家電製品が高性能となっても、この壁を超えることができません。灯油やガスについても同様に、1立方メートルあたり作る熱量は決まっています。都市ガスの場合で1立方メートル10,750kcal、灯油の場合は、1ℓで8767kcalの熱量を生み出すことができます。当然、それぞれにおいて価格が異なりますので、単位をカロリー（熱量）に直して、比較する必要があります。

こうして単価を比較してみると、どのエネルギーがより効率的なのかを確認することができます。では、どのエネルギーがより効率的なのでしょう。1円の利用料金あたりのカロリーを計算してみます。

エネルギー別コスト比較

〈1 kWh 当りのエネルギーコスト（税込）〉

（2013年10月 石油連盟石油システム推進グループ調べ）



単価のシミュレーション

- 電 気：1 kWh あたり…………… **30.28 円**
- 灯 油：1 ℓあたり…………… **100.61 円**
- 都市ガス：1 m³ あたり…………… **187.69 円**
- LP ガス：1 m³ あたり…………… **569.70 円**

エネルギー	単位	1 単位あたりの熱量	1 単位あたりの価格	1 円あたりの熱量
電気	kWh	860kcal	30.28円	30.28kcal
灯油	ℓ	8,767kcal	100.61円	87.13kcal
都市ガス	m ³	10,750kcal	187.69円	57.29kcal
LPガス	m ³	24,000kcal	569.70円	41.56kcal



〈石油情報センター、福島県 10 月末価格より〉

以上によると、順位として灯油>LP ガス>都市ガス>電気の順に 1 円あたりのコストで作れる熱量に違いがあり、灯油が最も効果的です。